

窓にシャッターを取付け

2hour
Reform

Before



施工の流れ

Start!



窓や外壁はそのまま



外壁に下地部材を取付け

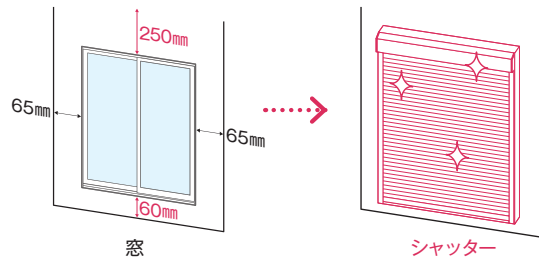
※下地部材なしもご用意しています。

- シャッターを壁の上から取付けて、2時間*でリフォーム完了。

※施工時間は納まり、条件によりプラスになることがあります。

- 取付に必要なスペースが小さくなり、さまざまな納まりへの対応が可能になりました。[詳しくは] P.10

■標準の取付スペース



※上記寸法以外に作業スペースが必要です。

After



Finish!

シャッター枠と枠カバーを取付け、
シーリング処理の後、
シャッター部を取付け

※電動の場合は別途配線工事が必要です。

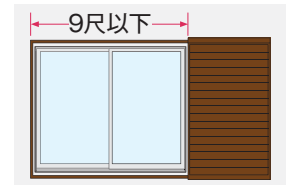
動作確認をして完成！

雨戸にシャッターを取付け

3hour
Reform

1 戸袋のこし

雨戸の戸袋を残したままでもシャッターを取付け。



戸袋を除き幅9尺以下の窓に対応

Before



After



2 戸袋かくし

シャッターを閉めると、窓から戸袋までかくれて外観もスッキリ。



戸袋を含め幅9尺以下の窓に対応

Before



After



●戸袋をこわさずシャッターを壁の上から取付けて、3時間*でリフォーム完了。

※施工時間は納まり、条件によりプラスになることがあります。



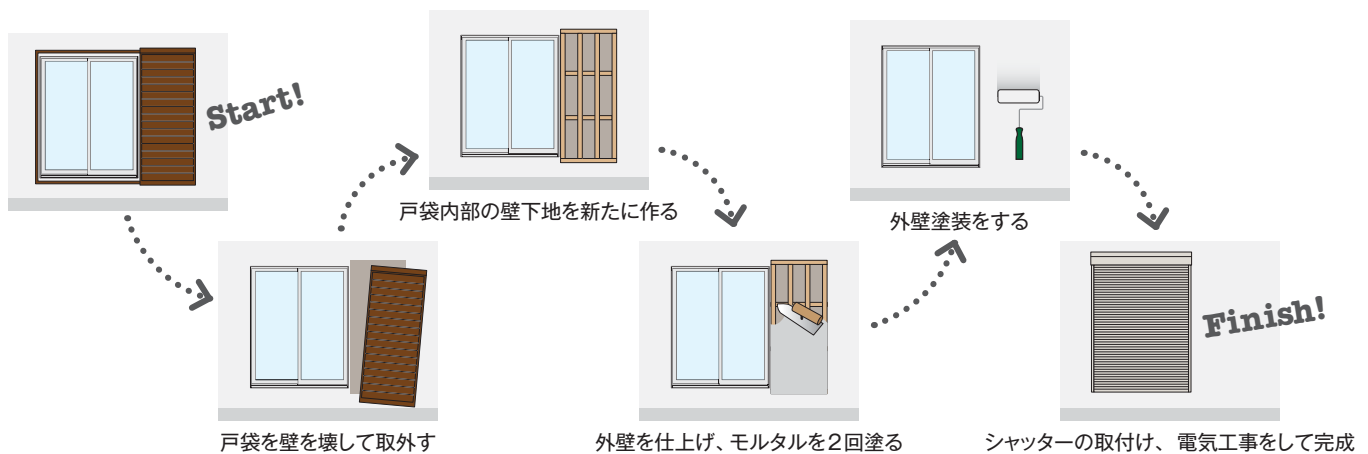
映像で見る
「雨戸→シャッター」

●さまざまな住まいの状況や納まりに対応できます。

対応納まり一覧 ※事前に対応可否を下記表にてご確認ください。

| | 標準 | 片入隅 | | ボックス下げ | ボックス下げ片入隅 | | 土間用 |
|-------------------|----|-------------------|--------------------|---|------------------------|-------------------|-------------------------|
| | | 戸袋側が入隅 | 窓側が入隅 | | 戸袋側が入隅 | 窓側が入隅 | |
| 1 戸袋のこし | | 戸袋が壁に接していてもOK | — | 雨戸枠と軒の間に100mmあればOK | 雨戸枠と軒の間に100mmあればOK | 戸袋が壁に接していてもOK | — |
| | | | | シャッターボックスを下げて取付けるため、室内側からボックスの裏側(室外側と同色)が一部見えます。 234.5mm この部分(最大140mm) 室外 窓 室内 | | | |
| 2 戸袋かくし | | — | 雨戸枠が壁に接していてもOK | — | — | — | 雨戸枠がデッキや土間に接していてもOK |

従来のリフォームの場合、工事はこんなに大変。





リモコンスリットシャッター GR

シャッターを閉めたままでも採光・採風ができる

スリットの開け閉めで上手に採光・採風ができます

スラットとスラットの間のスリットを開けることで、
ほどよく視線を遮りながら、光と風を入れることができます。



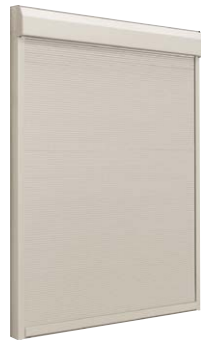
スリット全開



スリット全開



スリット半開



スリット全閉



「モーターロック機構」が 外からのこじ開けを防ぎます

シャッターが完全に閉じると自動的にモーターロックがかかります。スリットを開けた状態で使うための手動錠も装備しており、スリットが開いた分、故意にシャッターをずり上げられることを防ぎます。

※シャッターを開閉する際は、手動錠が解錠されていることを確認してから行ってください。
※土間用には手動錠は装備していません。



モーターロック機構



手動錠



障害物感知機能

シャッターの降下中に障害物に当たり一定の負荷がかかると、自動的に反転上昇し上部から10cmの位置で停止します。

※最下部より5cm未満では障害物を感知しませんのでご注意ください。
※感知エリア内であっても、使用条件・障害物の位置により感知するまでに時間がかかる場合があります。

非常開放機構

停電などの非常時には、操作レバーを上げることで手でシャッターを開けることができます（レバーを下げることで復帰できます）。

※シャッターhによって、操作レバーの形状が異なります。



シャッター h < 1,330mm



シャッター h ≥ 1,330mm



映像で見る

「リモコンスリットシャッターGR」



リモコンシャッター

リモコンを標準装備した、これからのスタンダード



「モーターロック機構」が 外からのこじ開けを防ぎます

シャッターが完全に閉じると自動的にモーターロックがかかります。



新モーター採用で、 メンテナンスが簡単です

通信部をシャッターボックスの端に移動し、カバーを外せばすぐ見られる場所に配置。LEDランプの点滅で故障や不調の原因が分かりやすくなりました。



障害物感知機能

シャッターの降下中に障害物に当たり一定の負荷がかかると、自動的に5秒間反転上昇し停止します。



※最下部より5cm未満では障害物を感知しませんのでご注意ください。

非常開放機構

停電などの非常時には、操作引手を引っ張ることで手動でシャッターを開けることができます(もう一度引っ張ることで復帰できます)。





手動シャッター

確かな基本性能を備えた手動タイプ



「自動ロック機構」が 施錠し忘れを防ぎます

シャッターが完全に閉じると、座板に設置された錠が自動施錠されます。



※シャッターを閉める時は、完全に座板を押し下げて施錠状態を確認してください。

手動操作のしやすさに配慮しています

解錠レバーは、座板の左右全体にわたる形状のため、引違い窓の左右どちらの窓を開けても解錠操作ができます。



操作ロープを標準装備

高い位置にあるシャッターを降ろしたり、立ったままで操作するなど便利に使えます。マグネット付のため、使用しない時はスラットにくっつけておけます。



土間用の座板錠

室内、室外の両側からロック・操作可能です。室外からは、専用キーで施錠操作ができます。

